

2021-22年度クラブ会報 第41号 2022年6月22日発行

2022年6月15日(水) 第2373回 例会報告

卓 話 1 年 を 振 り 返 っ て
宮 崎 茂 夫 会 長 ・ 倉 内 淳 幹 事



本日のプログラム

6月22日(水)

最終例会
フォレスト・イン昭和館 眺林

次回プログラム

7月6日(水)

全員クラブ協議会

2021~22年度国際ロータリー会長テーマ
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
RI会長 シェカール・メータ

2021~22年度東京武蔵村山ロータリークラブテーマ
クラブの未来を築くために行動しよう
第50代会長 宮崎 茂夫

・進行 後藤 正次 SAA

・点 鐘 宮崎 茂夫 会長

・斉 唱 「それでこそロータリー」
ソングリーダー 倉内 淳 会員



・出席報告 阿久津 圭吾 会場運営委員



会 員 数	出 席 者 数	出 席 率	前々回出席率修正
30名	25名	86.21%	な し

・来客紹介 宮崎 茂夫 会長

・多摩分区ガバナー補佐
町田 清二 様(東京東村山RC)



1年間お世話になりました。

・多摩分区分区幹事
赤木 盛一 様(東京東村山RC)



・ニコニコBOX発表 井上 昇一 親睦委員



ニコニコBOX

- *ガバナー補佐町田清二様・分区分区幹事赤木盛一様(東京東村山RC)⇒宮崎会長、倉内幹事様、東京武蔵村山RCの皆様方のお力添えにより、無事に役目を果たす事が出来ました。大変有難うございました。
- *宮崎茂夫会長・倉内淳幹事⇒多摩分区分区ガバナー補佐町田清二様、多摩分区分区幹事赤木盛一様、本日はようこそお越し下さいました。コロナ禍でむずかしい1年でしたが、大変お世話になり、有難うございました。
- *波多野晃夫会員⇒多摩分区分区ガバナー補佐町田様、分区分区幹事赤木様1年間大変お世話になりました。有難うございました。
- *藤野豊会員⇒町田ガバナー補佐様、赤木分区分区幹事1年間お世話になりました。
- *比留間重次⇒多摩分区分区ガバナー補佐町田様、多摩分区分区幹事赤木様ご苦労さんでした。お世話になりました。

◆今回計 23,000円 累計 1,106,000円

・会務報告 宮崎 茂夫 会長



○2022年規定審議会『クラブと地区に関連する重要な変更』について

※2022年7月1日より有効となる改定された組織規程文書(定款細則)は、近々英語版が発行され、各国言語版は9月から10月にかけてMy ROTARYへ掲載される予定

○ハイライトよねやま267号

○ロータリー米山奨学生学友会(東京) 2021-22年度総会のご案内

・日時:7/2(土)14時～

・場所:清澄庭園

・登録料:10,000円(当日)

○2022-23年度第5回地区インターアクト委員会開催のお知らせ

○第1回分区連絡会事前報告及び追加R賞登録項目提出のお願い 〆切6/21

・幹事報告 倉内 淳 幹事

○【地区大会】山崎直子様ご講演ビデオ「宇宙、人、夢をつなぐ」地区YouTube配信

・地区大会当日のライブ配信で講演を視聴した子どもたちから沢山の質問があり、回答できなかった物を文書にて回答

○武蔵村山市まちづくり協会より会費入金のお礼状をいただきました。

○武蔵村山市協同推進部より令和4年度地球環境保全に係わるポスターの掲出依頼



・委員会報告

○親睦委員会(新海 正人 委員長)

・最終例会のご案内

2022年6月22日(水)

フォレストイン昭和館9階 眺林

18:30～20:30

※今回は送迎バスはありません。

○次年度プログラム委員会(比留間 孝司 委員長)

・次年度プログラム案についての皆さまのご意見・ご要望のお願い

○次年度幹事(荒井 孝育 幹事)



・次回最終例会前の予備理事会について出席対象者の確認

○ゴルフ部(比留間 一義 部長)



・先日のクラブ内コンペの報告と御礼

・次年度ゴルフ部部長は荒井孝育会員

○50周年記念実行委員会

(野島 征 副実行委員長)

・5月22日記念事業についての会計報告



・卓 話 「1年を振り返って」

宮崎 茂夫 会長

はじめに

今から2年前、嶋田年度の11月に行われた「指名委員会」において、2回目の会長を仰せつかりました。丁度、当クラブが50周年になるので、以前多摩分区分区幹事をしたので、少しは顔が売れているだろうからと、指名されてしまったのです。しかし幸いなことに、6年前自分が会長を受けた時、幹事だった倉内さんが再び幹事を引き受けてくれたので、これで50周年は乗り切れるだろうと、安心して胸をなでおろしました。その後、ZOOM例会で大いに活躍していただきました。

ところが、後で気が付いたことなのですが、当クラブは、周年記念式典は、以前から周年の翌年に行われていたことが分かりました。したがって50周年にかこつけて、会長を引き受ける羽目になってしまった自分は何なんだろうと、それが分かったときには、気落ちしてしまいました。しかしその後、50周年記念式典実行委員会で、本年度は50周年記念事業を行い、来年度に記念式典を開催することになりました。年度をまたいで実施する運びとなったことで、幾分気持ちが救われた感がありました。これで何もない1年であったなら、と思うと気持ちが今一つ乗らなかったかもしれません。

ただ、新型コロナウイルス感染が嶋田年度の3月ごろから蔓延してきて、ロータリー活動に影響が始め、新海年度では、ほぼ1年コロナに振り回され、これまた活動を縮小せねばならない状況になりました。

本年度も同じように、コロナのオミクロン株等により、蔓延防止や緊急事態宣言が出され、いくつかの事業が中止せざるを得ない状況でした。しかしZOOMによる例会を取り入れたことによって、例会はほとんど休まず開催でき、会員のご協力に改めて感謝申し上げます。

ありがとうございました。

それでは、この1年を会長方針に沿って振り返ってみたいと思います。

会長方針

クラブテーマは「クラブの未来を築くために行動しよう」でした。

クラブの未来を築くとは、より多くの仲間を迎え入れ、基盤を広げ、元気で活気あるクラブにしようと、創立50周年を機にやってみようとするものでした。それには、メンバー一人一人が積極的に行動することが最も大事であると考えたわけです。しかし、その結果、会員増強には至らなかったものの、50周年記念事業が大成功に終了できたことは、実行委員会を中心に全会員が素晴らしい行動した結果だと思っています。有難うございました。

それでは、50周年記念事業が大成功に終わるまでの過程を振り返ってみたいと思います。

50周年記念事業について

まず50周年記念事業からお話したいと思います。

昨年、2021年2月、50周年記念式典実行委員会の組織が藤野実行委員長から発表され、50周年プロジェクトがスタートいたしました。そして第一回実行委員会が2021年2月17日開催され、記念式典は2022年6月18日(土)、会場は立川パレスホテルで開催することが決定されました。第二回実行委員会は2021年5月19日に開催されましたが、しかし、この時までにはパレスホテルの予約が出来ないことが判明し、急きょ6月15日(水)に開催日を変更しなければならなかったこととなりました。

また、同時に東大和ロータリークラブの50周年記念式典が、5月28日(日)に開催するとの情報が入ってきました。

わずか一か月以内に、二つのロータリーが同じ場所で開催するのは、来賓および参加者が重複する手前、いかなるものかと議論になり、東大和ロータリークラブに合同50周年記念式典ができないか打診しました。東大和、高木会長、安部幹事、虎井実行委員長、藤宮副実行委員長、こちらからは、藤野実行委員長、野島幹事、私と倉内幹事で、東大和ロータリークラブに出向き話し合いました。結局、合同開催は不調に終わりました。その結果、元々当クラブは、周年を迎えた翌年に記念式典を開催していることから、本年度は記念事業を行い、次年度に記念式典を行なうと正式に実行委員会決定されました。

昨年、9月入り、記念事業をどのようにすべきか、クラブ会員全員にアンケートを取りました。その結果、一番多くの意見は、「幼児を含めた子供たちに何か良いことをしよう」ということでした。それに基づき、新海副実行委員長がいろいろ八方に手をつき、努力の甲斐あって、今回の「善ちゃんとボルトボルズのサイエンスショー」を企画されたのです。また、もう一つの事業として、市内14校の小中学校に、一校当たり5万円分の図書カードを贈呈することが決まりました。

結果は、皆様のご協力により大成功に終わることが出来ました。会長方針であります「クラブの未来を築くために行動しよう」そして「社会奉仕と公共イメージの向上」を掲げたことが実を結んだ結果になり、実行委員会および全会員に感謝申し上げます。

それでは、再び会長方針の行動計画を振り返ってみます。

1、会員増強について

増強目標10名でしたが、結果的に1名の入会と2名の退会者を出してしまいました。田中増強委員長はじめ数人の会員から10数名の推薦状を出していただきましたが、コロナ禍で予定者と十分な親睦の機会も取れず、頼みのオープン例会も中止になり、大きな目標を立てたのですが、非常に残念な結果に終わり、誠に申し訳ありませんでした。

次年度も10名の目標を立てていますので、予定者に再度声掛けをしていただきたくご協力よろしく願いいたします。

2、社会奉仕と公共イメージについて

一般的にロータリーの名前は聞いたことはあるが、何をしている団体なのかは知らない人が多い。そのため、我がクラブとしても、ロータリーを理解し、ともに活動する仲間を増やすためにも、ロータリーの存在や活動を外に向けて発信する必要があることから「公共イメージ」向上を会長方針の行動計画に入れました。

その結果、何とんでも、今年度50周年記念事業が武蔵村山市民会館で多くの人の参加を得て成功裏に終了出来たことは、ロータリーを多くの皆様に知っていただいた最高のものであったと思います。

社会奉仕としては、武蔵村山市社会福祉協議会に、コロナで困っている人への援助として、10万円を寄付したことが挙げられます。そのほかには青少年を対象にした「東京武蔵村山ロータリークラブ杯東西対抗少年野球大会」があります。コロナ禍でサッカー大会は中止になりましたが、それぞれ、公共イメージの向上になったものと思います。関係者の皆様には感謝申し上げます。

3、例会と親睦の充実

次にロータリー運動の原点である「例会」と奉仕の実践の源となる会員の「親睦」です。

まず、例会についてであります。

去年は、新型コロナウイルスの影響を受け、例会を全て開くことが出来ない状態が続きました。今年度は、コロナ感染防止対策を十分に行い、できる限り実施しようと、会長・幹事で決めましたが、新年度が始まったばかりの7月12日から8月22日まで、東京都は4回目の緊急事態宣言を発令しました。その結果、ZOOMを利用した例会を試みることになりました。例会場で行う、ハイブリッド例会、会員が自宅や勤務先で行うオンライン例会を進んで実践いたしました。これには倉内幹事の指導力と努力によりまして、初めは勝手がよくわから会員さんもありましたが、だんだん慣れてきて、全体的にはスムーズな運営ができたものと思います。

内容については、プログラム委員会と調整しながら、第一に「50周年記念式典実行委員会」を多く取り入れました。次に「創業者・経営者の想い」の卓話を当クラブのメンバーに卓話していただきました。齊藤会員には「歌舞伎場と私の人生」と題して、「大きく羽ばたいた人生の軌跡」を語っていただきました。薄井会員には「出会いのあった多くの方への感謝、そして諦めずに努力した結果」が現在であることを伝えていただきました。比留間重次会員には、「生まれてからの人生、学生時代、そして仕事を通して学んだこと、人生の熱い思い」を語っていただきました。

また、田中会員には「会員増強」に際し、「勧誘はまず、ロータリーをよく理解することから始まり、クラブや仲間を好きになること」を伝えていただきました。クラブ研修リーダーの比留間孝司会員には、「ロータリーにどう向き合いますか、最初の一步として職業奉仕」のタイトルで職業人としての「あり方」「あり様」について語っていただきました。阿久津会員の奥様ザヤ様には民族衣装で「モンゴルの文化と課題」をテーマに、「歴史・食文化・モンゴルの砂漠化」等、お話ししていただきました。（こんにちは、は、モンゴル語でサエンバエノー）会員の皆様本当にありがとうございました。

外部卓話には、東京フットボールクラブ(株)代表取締役 阿久根謙司様をお呼びいたしました。テーマは「自立とコーチング」でした。武蔵村山市長 山崎泰大様のテーマは「さあ来い、モノレール」。武蔵村山市社会福祉協議会 総務課長 野崎利明様には「社会福祉協議会の現状」についてご講演いただきました。

次に親睦です。

コロナ禍の中、少し収まりかけた12月、クリスマス会が「梅の花」立川店で開催され、アトラクションのマジックショーや恒例のプレゼント抽選会等、久しぶりに楽しくお酒を酌み交わし、充分親睦がはかれたものと思います。実際には新年会、夜間例会、オープン例会、そして、親睦旅行を計画しておりましたが、コロナ感染、蔓延防止措置のため開催できませんでした。これに関してはやむをえないことで残念に思います。

親睦委員会の皆様、受付含め大変ありがとうございました。

最後に、第2580地区及び多摩分区について少しだけ振り返ってみます。

地区の恒例事業のPETSおよび地区研修協議会はコロナの影響でZOOMから始まりました。若林英博ガバナーは本年度の基本方針、大きな目標として「世界で、日本で、地域で良いことしよう」そして、1、新型コロナウイルスで困っている人々を支援しよう。2、ポリオ根絶に向けて頑張ろう。3、元気なクラブになろう。4、会員増強・クラブ拡大をする覚悟をもとう。5、ロータリーの公共イメージをアップさせよう。以上5項目を発進されました。ガバナー公式訪問では、その5項目に対する考え方、取組みについて意見を求められました。意見発表者は、佐藤貢社会奉仕委員長、内野均国際奉仕副委員長、比留間一義クラブ奉仕委員長、田中伸彦会員増強委員長、荒井孝育情報委員長、でした。みなさんの確に意見を述べられ、無事終了することが出来ました。有難うございました。

ガバナーの卓話に於いては、会員増強に触れ、「女性を迎え入れてください」との希望がありました。それには、「会員は好かれる人になりなさい」、クラブにあっては「魅力あるクラブを作りなさい」、とっておられました。なぜか印象に残っております。

地区大会もコロナ禍の中、開催日を延期して、しかも1日開催で行われました。RI 会長代理千玄室大宗匠は、今年99歳白寿だそうです。背筋をのばした姿勢での講演はお見事という以外には言葉がありません。ガバナーはオープン例会を提唱したが、コロナ禍の中、開催できたクラブは20クラブ程度、もっと元気なクラブになるためのワークショップもテレワーク開催が殆どで、全てコロナの影響を受けた2580地区の1年でした。

多摩分区においても、分区最大のイベント、IMも町田清二ガバナー補佐、赤木分区幹事のもと盛大に開催されるとのことでありましたが、これもコロナの影響を受け、東村山ロータリークラブホストで行われましたが、縮小を余儀なくされ、出席者は各クラブ会長のみ、懇親会なしの寂しいIMでした。分区連絡会も中止が相次ぎ、他のクラブとの親睦も図れない侘しいものでした。

以上もちまして、終了させていただきますが、最後に倉内幹事には例会時は早く会場に来て、ハイブリット例会を段取りしていただき、また、幹事として、最高のパートナーとして会長を支えていただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

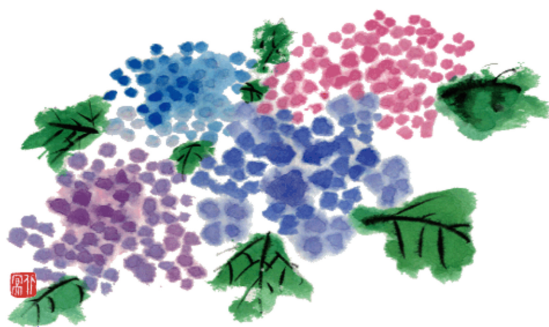
倉内 淳 幹事

先程、宮崎茂夫会長より詳しいお話がありましたので、私からそれほど加えることはないのですが、、（笑）

ただ、年度始めのZOOMを多用したオンライン例会並びにハイブリット例会には、本当に皆様のご協力を頂きました。本来このような機材の利用を苦手とされる会員の方には、ご本人だけでなくご家族や会社の方にも大変なご協力を頂きましたので、本当にありがとうございました。

この1年、宮崎会長共々本当にお世話になりました。ありがとうございました。

・閉会の点鐘 宮崎 茂夫 会長



◇ 創 立 1972年7月8日 ◇ 承 認 1972年7月20日
◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
◎ 会 長 宮崎 茂夫 ◎ 幹 事 倉内 淳
○ 副会長 比留間一義 ○ 副 事 荒井 孝育
□ クラブ会報委員長 波多野晃夫 副委員長 佐藤貢
委員 比留間重次、比留間孝司、比留間一義

東京武蔵村山ロータリークラブ
事務局/例会場 西武信用金庫村山支店2階
〒208-0004東京都武蔵村山市本町2丁目91-1
TEL:042-520-3251/FAX:042-520-3252
Eメール:t-mmrc@crest.ocn.ne.jp
●例会日:毎週水曜日 12:30~13:30